

マニュアル

# インターフェイスセットアップ

第 3.6 版

日本語

#### **会社情報/著作権情報**

ベクター・ジャパン株式会社  
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20  
天王洲郵船ビル 16F

本ユーザーマニュアルに記載される情報およびデータは、予告なく変更されることがあります。このマニュアルのいかなる部分も、方法や電子的または機械的手段にかかわらず、発行者からの書面による許可なく、いかなるかたちでも複製することはできません。技術的情報、図面などはすべて著作権保護法の対象です。

© Copyright 2015, ベクター・ジャパン株式会社  
All rights reserved.

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>2</b>
1.1	このユーザーマニュアルについて	3
1.1.1	認証	4
1.1.2	保証	4
1.1.3	登録商標	4
<b>2</b>	<b>ドライバーのインストール</b>	<b>5</b>
2.1	最小要件	6
2.2	ヒント	6
2.3	ベクターのドライバーセットアップ	7
2.4	Vector Hardware Configuration	9

# 1 はじめに

この章は、次の内容について記載されています。

---

1.1	このユーザーマニュアルについて 認証 保証 登録商標	3 ページ
-----	-------------------------------------	-------

---

## 1.1 このユーザーマニュアルについて

### 表記規則

以下の 2 つの表では、このユーザーマニュアルで使用されるスタイルと記号の表記規則について説明します。

スタイル	使用方法
太字	ブロック、表面的な要素、ソフトウェアの画面名称とダイアログ名。警告やアドバイスの強調を意味。 [OK] ボタンは角かっこで囲まれる。 [ファイル] - [保存] メニューおよびメニュー項目を指す。
Microsoft	法律で保護された正式名称および注記。
Source Code	ファイル名およびソースコード。
ハイパーリンク	ハイパーリンクおよび参照先。
<Ctrl>+<S>	ショートカットキー。
記号	意味
	ヒントや補足情報を記載しています。
	データを破損する可能性のある危険な操作について警告します。
	ヒントや追加情報を記載しています。
	例を示しています。
	段階を追って説明しています。
	ファイルの編集に関する説明を記載しています。
	このマークは、特定のファイルを編集しないように警告しています。

### 1.1.1 認証

#### 認定品質 管理システム

ベクター・ジャパン株式会社は、ISO 9001:2008 認定を取得しています。ISO 標準規格は、世界的に認められている規格です。

### 1.1.2 保証

#### 制限事項

ベクター (ベクター・ジャパン株式会社および Vector Informatik GmbH) は、文書やソフトウェアの内容を予告なしに変更する権利を有します。ベクターは、このマニュアルに記載される内容に間違いがないこと、また、このユーザーマニュアルを使用することによって生じる損害に対しては、全く責任を負いません。ベクターは、間違いのご指摘や改良のご提案に感謝し、今後、お客様により効率的な製品をご提供できるようにいたします。

### 1.1.3 登録商標

#### 登録商標

このマニュアルで使用されるすべての商標および必要に応じてサードパーティが登録したすべての商標は、各有効な商標権および登録された特定の所有者の権利の条件に帰属します。すべての商標、商標名、会社名は、それらの特定の所有者の商標または登録商標です。明示的に許可されないすべての権利は留保されます。このマニュアルで使用される商標が明示的に掲示されていない場合でも、名前にサードパーティの権利がないことを示すものではありません。

→ Windows、Windows 7、Windows 8.1 は  
Microsoft Corporation の商標です。

## 2 ドライバーのインストール

この章は、次の内容について記載されています。

---

2.1	最小要件	6 ページ
2.2	ヒント	6 ページ
2.3	ベクターのドライバーセットアップ	7 ページ
2.4	Vector Hardware Configuration	9 ページ

---

## 2.1 最小要件

### ハードウェア

CPU	Pentium 4 以上	
メモリー	512MB 以上	
ネットワーク インターフェイス	CANcardXL	:PCMCIA
	CANcardXL e	:ExpressCard 54
	CANboardXL PCI	:PCI
	CANboardXL PCIe	:PCI Express x1
	CANboardXL PXI	:Compact PCI/PXI
	CANcaseXL	:USB
	CANcaseXL log	:USB
	VN1610	:USB
	VN1611	:USB
	VN1630A	:USB
	VN1640A	:USB
	VN2610	:USB
	VN2640	:USB
	VN3300	:PCI
	VN3600	:USB
	VN5610	:USB
	VN7570	:PCI Express x1
	VN7572	:PCI Express x1
	VN7600	:USB
	VN7610	:USB
	VN8910A	:USB
	VN8912	:USB

### ソフトウェア

オペレーティング システム	Windows 7 (32/64 bit) Windows 8.1 (32/64 bit)
ドライバーバージョン	8.x
測定アプリケーション	デバイスは、ベクターのアプリケーション (CANoe、CANalyzer など) や他社の測定アプリケーションで使用できます。デバイスは関連するライセンスを必要とします。ベクターの XL ドライバーライブラリーに基づくアプリケーションは、ライセンスなしで実行できます。

## 2.2 ヒント



**情報:**多くのデスクトップ PC には、特定の期間において CPU をブロックする、電源管理機能が搭載されています。これにより、時間システムの精度が低くなります。アプリケーションに厳密なタイミング要件が必要な場合 (周期的メッセージ送信や、反応時間の評価など)、これらの電源管理を無効にする必要があります。電源管理の設定は、BIOS 設定や、Windows 7 / Windows 8.1 のコントロール パネル (電源オプションなど) に含まれています。

本書には、電源管理機能の詳細について記載していません。



**情報:**次の手順を行うには、**管理者権限**が必要です。



## 2.3 ベクターのドライバーセットアップ

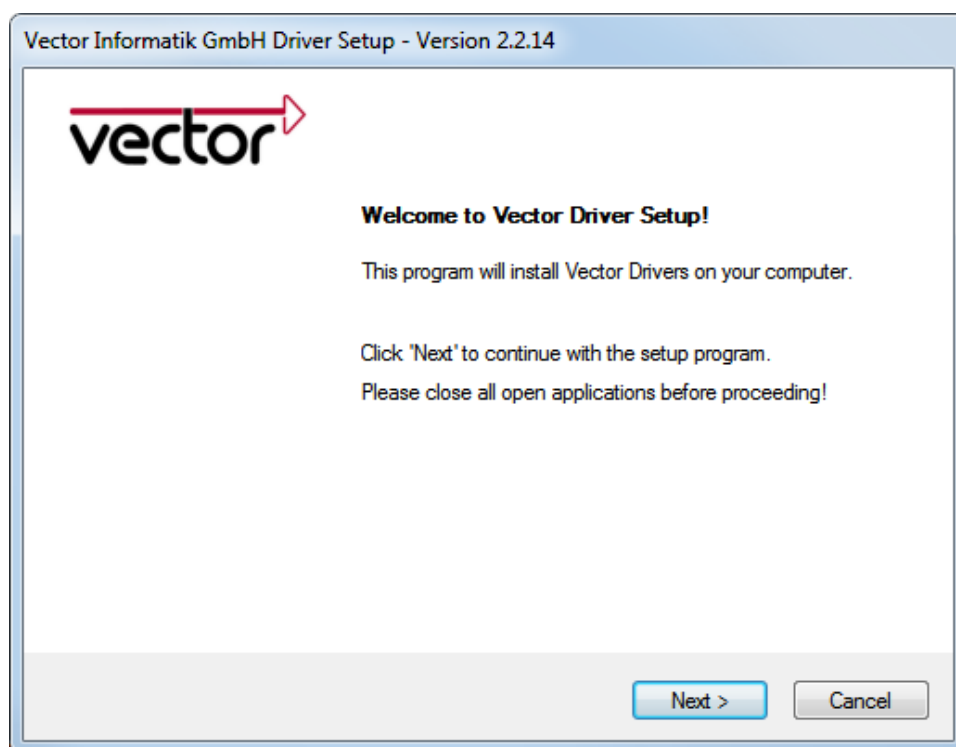
### 一般情報

Vector Driver Disk は、ベクターのデバイスのインストール/アンインストールが可能なドライバーセットアップを提供します。



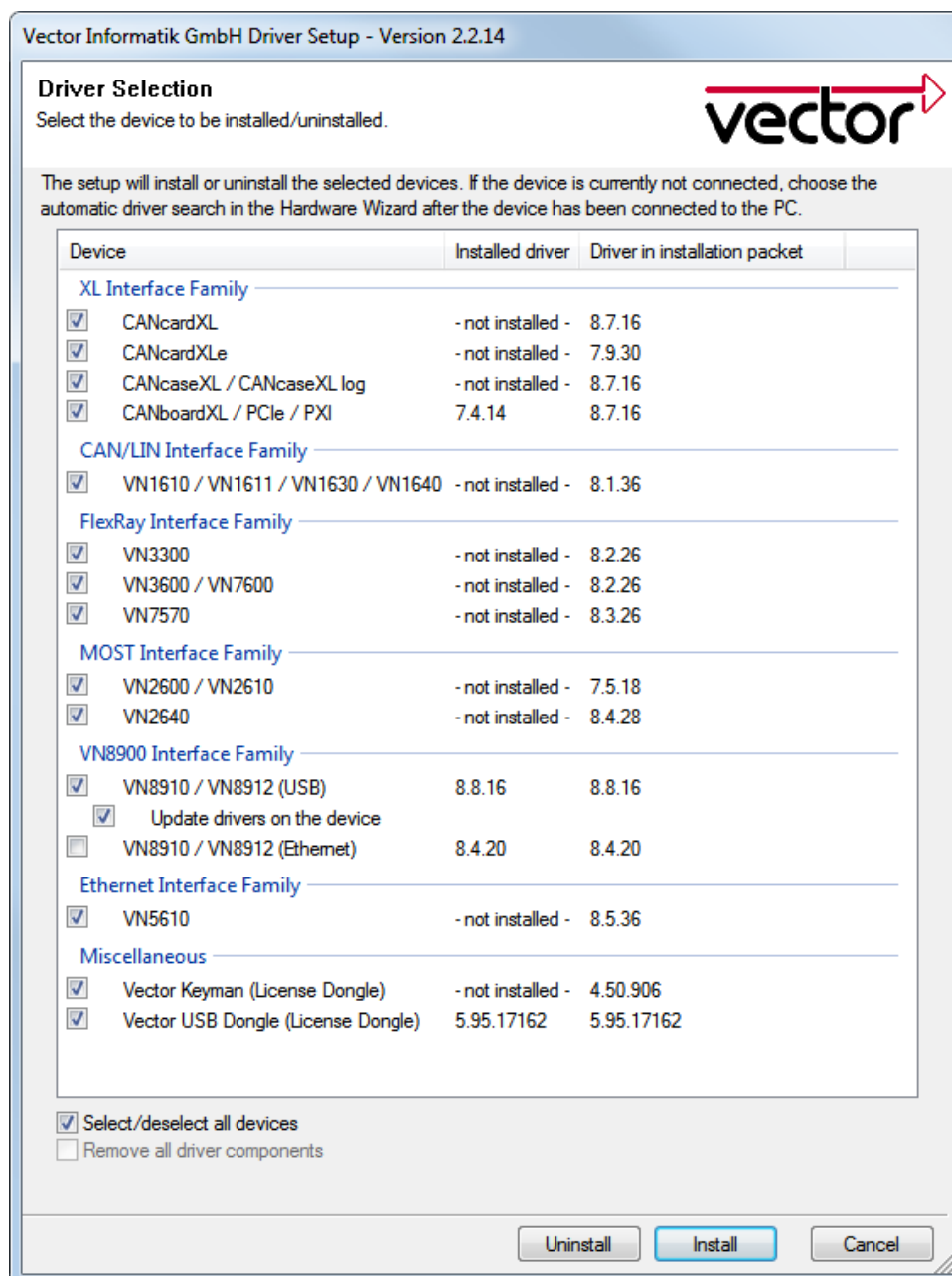
1. デバイスを挿入したり、付属の USB ケーブルで PC へ接続する前に、自動スタートメニューまたは \Drivers\Setup.exe から直接、ドライバーセットアップを実行します。

デバイスがすでに PC へ挿入または接続されている場合は、**新しいハードウェアの検出**ウィザードが表示されます。このウィザードを閉じて、ドライバーセットアップを実行します。



2. セットアップダイアログで **[Next]** をクリックします。初期化プロセスが開始します。

3. ドライバー選択ダイアログで、インストール/アンインストールするデバイスを選択します。



4. **[Install]** をクリックしてドライバーインストールを実行するか、**[Uninstall]** をクリックして既存のドライバーをアンインストールします。
5. 確認のダイアログが表示されます。**[Close]** をクリックして終了します。  
ドライバーが適切にインストールされたら、デバイスを挿入するか、付属の USB ケーブルで PC に接続できます。これでデバイスの動作準備ができました。

## 2.4 Vector Hardware Configuration

### Vector Hardware Configuration の実行

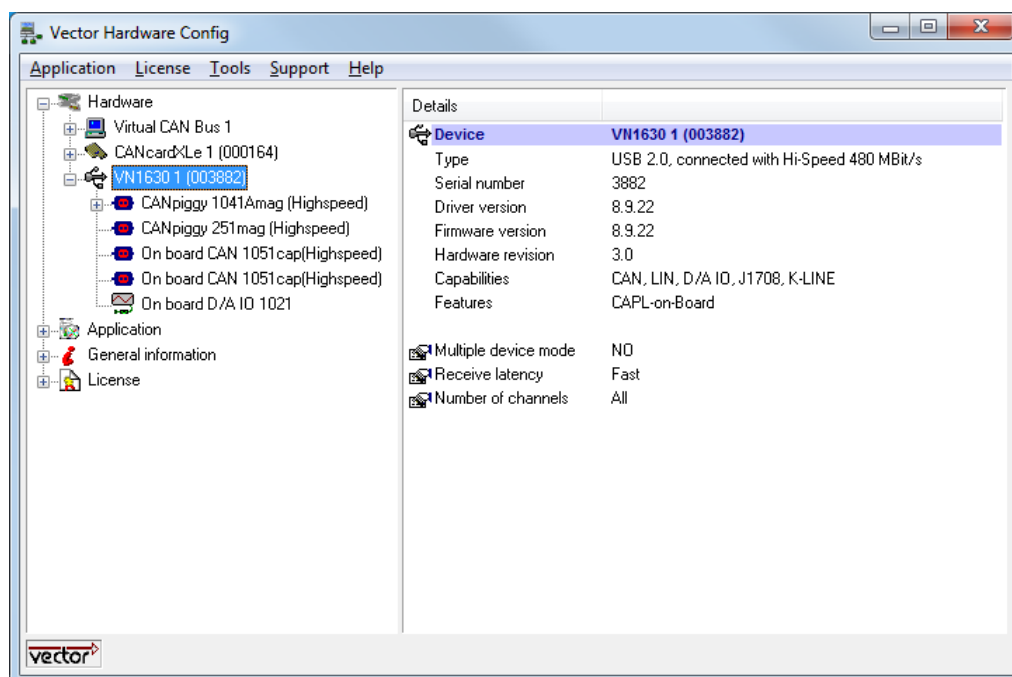
インストールが正常に終了すると、[コントロール パネル](下記を参照) に設定アプリケーションの **Vector Hardware** が表示されます。このツールで接続およびインストールされているベクターデバイスの情報を参照できます。また、このツールでは設定の変更もできます。

### コントロール パネル Windows 7

- ➔ カテゴリー表示  
[Windows スタート] – [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択し、一覧で [Vector Hardware] を選択します。
- ➔ アイコン表示  
[Windows スタート] – [コントロール パネル] の順に選択し、一覧で [Vector Hardware] を選択します。

### コントロール パネル Windows 8.1

- ➔ カテゴリー表示  
<Windows キー>+<X> – [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択し、一覧で [Vector Hardware] を選択します。
- ➔ アイコン表示  
<Windows キー>+<X> – [コントロール パネル] の順に選択し、一覧で [Vector Hardware] を選択します。



このツールは2つの Window があります。左側の Window では、インストールされているベクターデバイスにアクセスでき、右側の Window には選択したデバイスの詳細が表示されます。左側の Window では以下の項目を使用できます。

#### ハードウェア

**[Hardware]** には、インストールされている各ベクターハードウェアが表示されます。使用可能なチャンネルに関する詳細情報がツリービューに表示されます。デバイスのコンポーネントおよびチャンネルのステータス情報も、このダイアログに表示されます。

#### アプリケーション

**[Application]** には、使用可能なアプリケーションと設定されているチャンネルが表示されます。アプリケーションをクリックすると、アプリケーションのすべてのチャンネルが画面の右側に表示されます。

#### 一般情報

**[General information]** には、ベクターデバイスとアプリケーションに関する一般情報が表示されます。

#### ライセンス

**[License]** には、現在有効なすべてのライセンスに関する情報が表示されます。



**情報:** Vector Hardware Config の詳細については、オンラインヘルプ (**[Help]** – **[Contents]**) を参照してください。



**以下の詳細情報は弊社 WEB にて!**

## **会社紹介**

- > 最新ニュース
- > 製品
- > デモソフトウェア
- > サポート
- > トレーニング
- > お問い合わせ

**[www.vector-japan.co.jp](http://www.vector-japan.co.jp)**